

Light

2025.7
Vol.5



特集

病院新体制のご紹介

コラム

先輩患者さんに聞いてみました

新たな1歩を応援します。

2025年4月より、院長・副院長・看護部長が刷新され
新たなメンバーとなりました。

また全床回復期リハビリテーション病棟となり、今まで
以上に良質な医療とリハビリテーションの提供を行って
いきます。



院長：林 雅弘 Masahiro Hayashi

整形外科医

平成6年から当センターのリハビリに関わる



整形外科医として、特に脊髄損傷の患者さんを中心に、歩行機能の改善と生活の質の向上に尽力してまいりました。「再び自分の足で歩く」ことは、単なる移動手段の回復にとどまらず、患者さんの人生に自信と希望をもたらすものであり、その価値は測り知れません。これまで培ってきた経験を活かし、一人でも多くの方が自分らしい生活を取り戻せるよう全力を尽くす所存です。

また、病院全体としても、チーム医療の強化、リハビリテーション体制の充実、地域との連携を一層推進し、「選ばれる病院」「信頼される医療機関」を目指してまいります。

副院長：佐々木 理恵 Rie Sasaki

内科医

当センターの回復期リハビリテーション病棟で活躍



このたび副院長を拝命致しました。平成十七年に当センターに赴任し、内科医として診療にあたってきました。

令和四年の政府のまとめによると、要介護となる原因疾患の一位は、男性が「脳血管障害」、女性は認知症を除くと「骨折・転倒」です。脳血管障害の原因となる生活習慣病を早くからきちんと管理すること、転倒の原因となるフレイル（虚弱）を予防すること、また発症してしまった場合、できるだけ自立度の高い生活に戻れるよう専門的なリハビリテーションを行うことが重要だと実感しています。

県民の皆様のお役に立てるよう今後も尽力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長：高間 朋子 Tomoko Takama

看護部長

奈良県総合医療センターより当センターに着任



四月より副院長および看護部長として着任いたしました。これまで急性期病院での看護に長く携わっており、回復期の現場は初めての経験となります。

回復期は、患者さんが「再びその人らしい生活を取り戻していく」大切な時間です。その一歩一歩を、医療・看護・リハビリスタッフ等が「丸」となって支えている、この現場に身を置けることに心からやりがいを感じています。

学ぶことも多いですが、「患者さんのためにできることは、何でも挑戦していこう」という気持ちは、これまでと変わりません。

これからも現場の声に耳を傾けながら、看護の視点を大切に、安心と希望を届けられる病院づくりに全力で取り組んでまいります。



Y・Kさん(60歳代)

脳梗塞により右片麻痺となり歩行が困難となるも、懸命なリハビリにより屋外歩行が可能な状態まで回復されました。入院中に自動車の運転再開に向けたトレーニングを実施し、退院後は自分で運転されておられます。また、復職後は電車通勤をされており、まだまだ仕事をがんばりながら、日々の生活を楽しくしていきたいとお話くださいました。

写真は、退院1ヵ月後に入院時の担当理学療法士と作業療法士に会いにきてくださった時のものです。

復職に向けて必死に取り組んだりハビリ 再出発に向けてエンジン全開です！



コラム：先輩患者さんに聞いてみました

以前と同じ仕事量
をこなせるように
努力する日々です

仕事を2つかけもちしながら
精力的に働いているときに、病
気になりました。リハビリセン
ターではしっかり回復して退院
するつもりだったので、自分に
できる練習はなんでも挑戦しま
した。

なかでも、最初に取り組んだ
ロボットを使った歩行練習で、
病気になる前の歩き方を思い出
せた気がします。最新機器を
使いながら取り組んだりハビリ
の成果もあり、今では自由に屋
外歩行ができるようになりました。
また、歩行練習の成果もあ
り、電車に乗るのは最初から不
安はありませんでした。

車の運転もできるようになっ
たので、行動範囲が制限されず、
以前と同じような生活を送るこ
とができています。

これからも無理ない範囲で、
退院時に教えてもらった自主ト
レーニングを継続しながら、今
後の人生をしっかりと楽しみた
いと思います。

ぷ

ち

っ

すきま時間に ぷちっとリハ！ 自宅でできる簡単トレーニング

ー首のストレッチー

1

片方の手を頭の反対側に置き
手でひっぱるストレッチ



首の横の筋肉
を伸ばす

さらに

反対の腕を横に上げると
肩甲骨から首に繋がる筋肉も
ストレッチできます。

2

背筋を伸ばして両手を頭に置き
手で頭を前方に倒すストレッチ



首の後ろの筋
肉を伸ばす

- * 首の不調がある方、首の手術をした方は
実施を控えるか医師の指導のもと実施してください
- * ゆっくり息を吐きながら
15～30秒ずつ、2～4セット実施しましょう
- * まずは週に2回程度から、
無理なく痛みが出ない範囲で実施してください

このストレッチを実施することで
肩こりの予防や対策になります。
体をやわらかくして、
健康な日常生活をおくる基礎作りをしましょう



リハビリテーション科
作業療法士
自主トレーニング係

入院患者さんの
自主トレーニングを
サポートしています

NEW

スタッフのユニフォームが新しくなりました！



R7年6月2日よりリハビリテーション科スタッフのユニフォームを一新しました。

患者さんやご家族さんへ視覚的に職種をわかりやすくするため、理学療法士がネイビー、作業療法士がブラック、言語聴覚士がエンジのユニフォームを着用しています。

世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デーです。

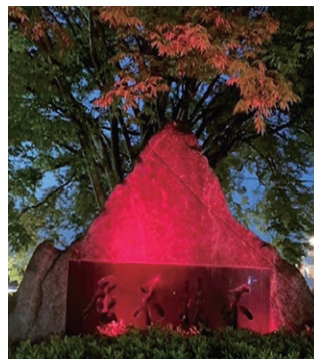
当センターでも4月2日から8日にかけてブルーリボンをつけ、自閉症をはじめとする発達障害について広く啓発する活動を実施しました。



世界高血圧デー

毎年5月17日は世界高血圧連盟が制定した「高血圧の日」です。心臓病や脳卒中の主要な原因となる高血圧の認識と予防の重要性を訴える国際的な取り組みです。

当センターでも高血圧の理解を深め、定期的な血圧測定を促す啓発活動として、病院前の石碑を赤や緑(動脈と静脈)でライトアップしました。



外来診療日程表

	月	火	水	木	金
内科	●		●	●	●
脳神経内科	●				●
整形外科	● (予約のみ)	● (午後) (第2・4週)	●	●	●
専門外来 (午後)	(手外来) ●		● (小児整形外科) (再診)	● (小児整形外科) (初診・再診)	● (小児整形外科) (再診) (第2・4週)
小児科 (予約制)	● (第1・3・5週)	●	● (第2・4週)	● (第2・4週)	●
精神科 (予約制)	●	●	●	●	●
リハビリテーション科		● (第1週)			
耳鼻咽喉科	●				●
泌尿器科			●		●
眼科		●			
放射線科	—	—	—	—	—

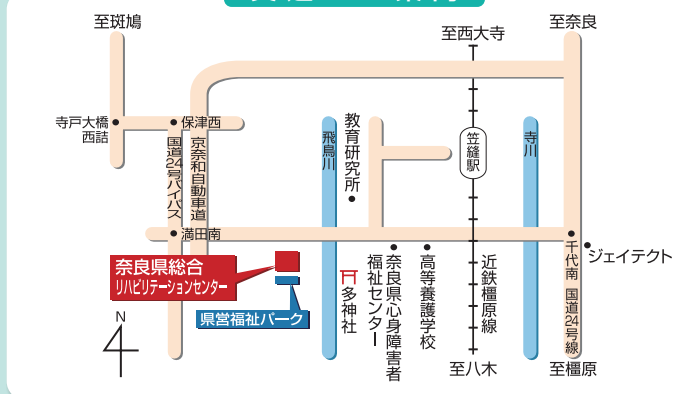
※ ● 男性医師 ● 女性医師

(令和7年7月現在)

受付時間			
ご予約のない方	内科・脳神経内科・整形外科・リハビリテーション科 耳鼻咽喉科・泌尿器科・眼科・放射線科		8時30分～11時30分
	手外来		13時00分～14時30分
	小児整形外科	木・金曜日 初診・再診 水曜日 再診	13時00分～15時00分
ご予約のある方	予約時間までに初診の方は総合案内、再診の方は再来機で受付をお願い致します。		

- ・受診時は、健康保険証もしくはマイナンバーカード・診察券等をお忘れなくご持参ください。
- ・交通事故及び業務上の負傷等で受診される場合は必ずお申し出ください。

交通のご案内



交通機関

- 近鉄笠縫駅 1.3km 徒歩20分
- 近鉄田原本駅 タクシー 約10分
- リハビリセンター送迎バス 約10分
(土・日・祝及び12/29～1/3は、連休)
- 近鉄大和八木駅 タクシー 約15分

送迎バス時刻表

時刻表	近鉄田原本駅発			リハビリセンター発		
8時	15	45		35		
9時	10	30	50	00	20	40
10時	10	30	50	00	20	40
11時	10	35	55	00	25	45
12時	15	35		05	25	
13時	35	55		25	45	
14時	15	35		05	25	
15時	20	40		10	30	
16時	20	40		10	30	

地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393

奈良県磯城郡田原本町大字多722番地

電話 0744 (32) 0200 (代)

FAX 0744 (32) 0208

<http://www.nara-pho.jp/reha/index.html>



令和7年7月 現在